



Title	大阪大学低温センターだより No.63 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1988, 63
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21403
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈 編 集 後 記 〉

この号がお手元に届くのは暑い夏の盛りのころと思います。約1年前の編集委員会では、折からの高温超伝導フィーバーの最中で、その特集を組むかどうか議論したと思います。その時点で阪大での研究の新しさがどこにあるのか、単に流行を追いかけるのはあまりにもミーハー的でいかなものか等の意見が出て、見送りとなったと記憶しています。高温超伝導発見以来流行を追いかけ続けて来た日本も、その発生原因を明らかにする点において決定的な役割を果たし、二番煎じの評価をひっくり返してほしいと願う人も多い事と思います。

このような中で本号は、はからずも超伝導特集号のようになってしまいました。遠藤、小田氏の直接的な話はもちろんの事です、佐々木氏の超流動の話は、電子系から何とかボーズ系を構成し、ボーズ系の超流動性から高温超伝導の原因を説明しようという立場の人には役立つ事も多いのではないのでしょうか。佐々木の話は、二流体モデルをミクロな立場から説明し、本質的な事は何かを明らかにしようと言う野心的なお話です。森の話は、高温超伝導の材料の中には多くの毒性の強いものがあり、その取り扱いについての示唆を与えていると言う点で超伝導材料を作っておられる方々にも何かと参考になるものと思います。

“最近高温超伝導研究も息切れの感がある”とも聞きますが、“だから、そろそろ自分の出番かな”と思っておられる方々もおられるのではないかと思います。そういう方々にも本号が少しでもお役に立ちますようお願いしております。

(堀 秀信)

大阪大学低温センターだより 第63号

昭和63年7月 発行

編集責任者 榎 田 孝 司
発 行 者 大阪大学低温センター
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号
電話 (06) 877-5111 内線4105
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号
電話 (06) 844-1151 内線2162

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川3丁目6番4号
電話 (06) 443-0936 (代表)

目 次

No.63

研究ノート

- 高分解能電子顕微鏡による
Y系-高温超電導材料の酸素欠損の検出工 学 部 遠藤 久満
坪川 純之 1
志水 隆一
- Y-Ba-Cu-O系高温超伝導体における
超伝導正方相について基礎工学部 小田 祺景 5
- 超流動ヘリウムとボーズ系の厳密解
—二流体が共存できる理由を解き明す—教 養 部 佐々木祥介 9

技術ノート

- 化学物質は危険か教 養 部 森 和亮15

実験メモ

- 複数ユーザーへの循環式冷却水システム低温センター 浅井 攻
株 喜代次17
吉田 立

談 話 室

- 高度なラマン分光学に関する
ワークショップに参加して理 学 部 櫛田 孝司19

- 運 営 組 織21

表紙写真 : $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_7$, 正方晶単結晶の微分干渉顕微鏡写真

(本文 5 ページ参照)